

ニュースリリース

2014年4月1日

2014年4月1日より当初募集開始(4月18日設定)



T & D保険グループのT & Dアセットマネジメント株式会社(東京都港区、代表取締役社長:藤瀬 宏)は、本年4月18日に「T & D JPX日経400投信(通貨選択型)米ドルコース(愛称:JPX日経ダブルウィン)」を設定します。

ファンドの特色

1. JPX日経インデックス400の構成銘柄、ならびに株価指数先物取引を実質的な主要投資対象とします。
 - 株式の運用にあたっては、主としてJPX日経インデックス400を構成する銘柄に投資を行い、当該指数の動きを概ね捉える投資成果を目指してポートフォリオを構築することを基本とします。また、わが国の株価指数を対象とする株価指数先物取引にも投資を行います。
2. ファンドは、原則として円売り米ドル買いの為替取引を行い、米ドルへの投資効果を追求します。
 - 為替取引を行うにあたっては、通貨オプション取引ならびに外国為替予約取引等を利用します。なお、主として通貨オプション取引を活用します。
 - 通貨オプション取引と外国為替予約取引等の円売り米ドル買い相当合計額の信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として純資産総額を上限として高位を維持することを基本とします。

資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。

当初申込期間	: 2014年4月1日(火)から2014年4月17日(木)まで
継続申込期間	: 2014年4月18日(金)以降
設定日	: 2014年4月18日(金)
取扱販売会社	: 岩井コスモ証券、ちばぎん証券、ニュース証券

ファンドの費用

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に、 3.24% (税抜3.0%) を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.2% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に 年1.1232% (税抜1.04%) の率を乗じて得た額とします。
その他の 費用・手数料	<p>【監査費用】 毎日、ファンドの純資産総額に年0.0054% (税抜0.005%)の率を乗じて得た額とし、ファンドでご負担いただきます。</p> <p>【その他】 証券取引に伴う手数料、ファンドに関する租税、特定資産の価格等の調査に要する費用等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>

上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位 (当初元本 1口 = 1円)
	購入価額	当初申込期間: 1口当たり1円 継続申込期間: 購入申込受付日の基準価額
	購入の 申込期間	当初申込期間: 平成26年4月1日 ~ 平成26年4月17日 継続申込期間: 平成26年4月18日以降
換金時	換金単位	販売会社が定める単位
	換金価額	換金申込受付日の基準価額から、信託財産留保額を差し引いた額
	換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
信託期間	平成31年10月21日まで(平成26年4月18日設定)	
決算日	毎年4月、10月の各20日(休業日の場合は翌営業日) 初回決算日は平成26年10月20日です。	
収益分配	年2回、毎決算時に収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。	

ファンドの投資リスクについて

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による損益は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

ファンドの基準価額の変動要因となる主なリスクは次の通りです。

株価変動リスク

為替変動リスク

取引先リスク(為替取引)

基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

分配金に関する留意点

- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ・分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

ご留意いただきたい事項

- 当資料はT & Dアセットマネジメントが投資者の皆様への情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料に記載した情報は、当資料作成時点におけるものであり、将来の投資成果等を保証するものではありません。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式および公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

以上

本件に関するお問い合わせ

T&Dアセットマネジメント株式会社 投信営業部

電話03-3434-5544 <http://www.tdasset.co.jp/>